

1973(昭和48)年、神戸の全国に先駆けた「ファッション都市宣言」から、まもなく半世紀。時代が移ろい、生き方やライフスタイルが多様化している現在、ファッションと人との関係は、大きく変化しています。また、日本や世界における神戸の役割も変化していると言えるでしょう。そこで神戸ファッション協会は、一昨年より、ファッション都市・神戸の再定義を目指し、様々なマーケティング調査や、有識者へのインタビュー、企業を招いてのシンポジウムや市民の皆様とのワークショップを通じて、ファッションのあり方を問い、新しい「豊かさ」や「美しさ」を模索してきました。これからの時代、私たちはどう生きるのか。未来に向かって動き出すための神戸のメッセージです。

経済のつぎは、 何が時代を 動かす のだから。

豊かさの、新たな指標をつくる。
神戸の挑戦です。

いま、神戸が動き出します。
異なる文化が交わり、都市と自然が混ざり合う多様性。
震災での喪失や悲しみを、力を合わせて乗り越えてきた強さ。
チャレンジを拒まない軽やかな精神。
個々が輝ける、街の心地いいサイズ感。
そこで育まれる他にはない感性や美意識、
「神戸センス」こそが、世界を変える力になるのだから。
お金があるとか、人口が多いとか、生産性が高いとか。
経済的な尺度だけでは、もう豊かさを測ることはできません。
量の大きさより、質の良さへ。競争よりも、共生へ。
ほんとうの豊かさや、1人ひとりの幸福、
そんな数字では測れない「質」を見極めるセンスこそが、
持続可能な、美しい未来を切り拓けるのだと思います。
量から質へ。移ろいゆく時代に、どう生きるか。
「ファッション都市宣言」から、まもなく50年。
神戸が、皆さまとともに、時代を動かす価値を創っていきます。

公益財団法人 神戸ファッション協会